

# 1. 現在に至るまでの事業の振り返り

## 1.1. 赤目の森の過去の取り組み

1990年 「赤目カントリークラブ建設反対市民の会」発足

1992年 ログハウス完成

「エコリゾート赤目の森」開設

1993年 赤目カントリークラブ開発計画撤回

1993～1995年のエコリゾート平均年間宿泊者数 3000人

1996年 エコリゾート年間宿泊者最高の4000人に達する

満室で申し込みを断ることが増加

会議室を新築

コテージを新築

任意団体として赤目の里山を育てる会設立

1997年 第1号ナショナルトラスト地取得

第15回ナショナル・トラスト全国大会の

エクスカッション会場となる

1998年 赤目小学校自然散策授業開始

三重県第一号のNPO法人格を取得申請

1999年 国際ワークキャンプ開始(7月)

書籍「里山の伝道師」出版

2000年 三重県環境功労賞受賞

日本ナショナルトラスト協会第1回エーコンプロジェクトジャパン

2001年 第1回里山リーダー養成講座(通年)

懸賞論文「2001年への提言」こころの時代 最優秀賞受賞

2002年 第3回里山リーダー養成講座(通年)

第1回里山レディース講座(通年)

第1回子ども里山探検隊(通年)

里山とアート in 赤目の森(コロシウム広場の整備)

パンフレットの製作(経済産業省 市民ベンチャー事業)

ボウガクグッズ開発

(財)あしたの日本を創る協会 まちづくり賞主催者賞受賞

2003年 デイサービス赤目の森開所

どんぐりの森づくり&木洩れ日コンサート

地域里山子ども探検隊(単発)

第4回里山リーダー養成講座(通年)

第2回里山レディース講座(通年)

田村職員の退職

ゴルフ場計画  
反対運動

収益

エコリゾートの事業化

会の活動

地域の里山保全活動団体としての活躍

デイサービスの事業化

現場作業者の不在

- 2004年 トムソーヤ広場 120年前の景観復活  
 桃山古墳道（里道2号線）の開通  
**理事の大規模入れ替り**  
 第5回里山リーダー養成講座（通年）  
 第3回里山レディース講座（通年）
- 2005年 **環境大臣表彰および祝賀会**  
 里山総合講座（通年）  
 NPO初級講座（通年）  
 ペレタイザー稼働開始  
 木質バイオマス研修会  
 ミツバチ講座
- 2006年 ユニバーサル・ウォーク（通年）  
 里山ワイルドライフ（通年）  
 石釜とこもれびテラスの整備  
 日韓合同 文化の源・里山での交流  
**全国雑木林会議（育てる会10周年記念事業）**  
 吉田職員の退職
- 2007年 味噌づくり講座  
 春休み・青少年里山探検キャンプ  
 吉森加大理事長 死去 5月11日 伊井野 雄二理事長就任  
 デイサービス赤目の森 チラシ完成  
 生き甲斐支援講座（通年）  
 赤目の森で希少生物たちと出会おう&二胡コンサート  
 国際ワークキャンプ重大事故  
 餅つき講座
- 2008年 味噌づくり講座  
 作業安全指針の創設  
 日本ミツバチの巣箱設置  
 市民公益活動実践事業（通年）  
 赤目の森で希少生物たちと出会おう&二胡コンサート  
 NHK ご近所の底力 放映
- 2009年 第1回青年里山フォーラム 熊野  
 名張市表彰受賞  
 一般廃棄物再生利用業指定登録  
 NPO基盤整備事業採択 山田職員採用  
 乗用草刈機導入  
**なばり NPO センター設立**

全国発信の機会の増加

雑木林会議の疲労

デイサービスの停滞期

職員の頻繁な入れ替り

青年層サポーターの増加

新職員採用

デイサービス売上増加

- 市民活動・ボランティア スキルアップ講座（通年）  
 週末青年里山ワークキャンプ（通年）
- 2010年 第二回青年里山フォーラム 滋賀・福井  
 埼玉県東松山市「こども環境会議」超小型ベレタイザー稼働  
 トラックで超小型ベレタイザーを実演 九州 など  
 皇學館大學名張校舎「名張の地域文化を語る会」で講演  
 「田舎で働き隊」農水省事業 採択 大熊 柴田 鶴田採用  
 ニホンミツバチの養蜂盛ん  
 NPO 基盤整備事業二年目  
 文化庁 地域伝統文化総合活性化事業採択 上三谷 獅子舞復活  
 森林整備加速化・林業再生部会 会員 木質ペレット導入事業  
 赤目の森作業所（就労継続支援 B 型） 開設  
 デイ介護職員 2名退職  
 名張市 バイオマス推進協議会 会員  
 東京 エコプロダクツ参加
- 2011年 就労継続支援型事業所 助成採択 ペレットストーブ設置  
 第三回青年里山フォーラム 中止 東日本大震災のため  
 東日本大震災の救援 3月17-22日 第1回~第5回  
 超小型ベレタイザー各地訪問 佐賀 山口 東京 青森 北海道等  
 三重県 NPO 支援機能強化事業 採択(なばり NPOC)  
 「田舎で働き隊」農水省事業 採択 中安  
 夏の子どもキャンプ復活 福島の子どもたちの支援  
 NPO 基盤整備事業三年目  
 新型ベレタイザー設置  
 木材乾燥室 新設  
 地域円卓会議の開催(なばり NPOC)  
 東京 エコプロダクツ第二回参加
- 2012年 全国ボランティアフェスティバルみえ 実行委員  
 台湾青年グループキャンプ開始(年2回)  
 文化遺産を活かした観光振興地域活性化事業 採択  
 三重県 NPO 支援機能強化事業 二年目 採択(なばり NPOC)  
 新しい公共を支える資源循環の基盤づくり事業 採択(なばり NPOC)  
 赤目の森作業所のペレットが三重県「バイオ・トレジャー」選定  
 第四回青年里山フォーラム 岐阜 上松 馬籠 妻籠  
 台湾へ研修旅行  
 金沢 NPO 法人 39 アースとの協働事業始まる  
 夏の子どもキャンプ

サービス事業が収入の柱に

新事業立上げの検討  
 木質ペレットの普及活動

働き隊の採用

研修事業の検討

委託事業の増加と保全活動の停滞

作業所の事業化

地域との結び付き強化・協働事業推進

- 赤目の森職員 山田→南野  
 福島県昭和村へホダ木 6000本送付始まる
- 2013年 第7回全国校区・小地域福祉活動サミット in みえ 実行委員  
 台湾青年グループキャンプ受け入れ二年目(年2回)  
**歴史・文化を活かした地域活性化事業 採択**  
 第五回青年里山フォーラム 奈良 神戸 京都  
 しいたけ原木栽培再開  
 研修 韓国 訪問 韓国「生命の森」赤目の森を拠点に研修  
**農水省食と地域の交流促進対策交付金事業採択**  
 ペレタイザー用コンベア設置 小型木質発電機 ガス発電の研究盛ん  
 自家製着火材の製造・販売着手  
**林野庁 森林・山村多面的機能発揮事業採択 (3年実施)**  
 職員 入れ替え  
**シイタケ ヒラタケ ナメタケ キクラゲ菌床栽培開始**  
**名張街道市に参加 キノコ類を販売**  
 福島県昭和村へホダ木 4000本送付始まる
- 2014年 金沢木質バイオマスセミナー講演  
 台湾青年グループキャンプ受け入れ三年目(年2回)  
**文化庁 初瀬街道子ども塾事業 採択**  
 第六回青年里山フォーラム 金沢  
 シイタケ原木栽培本格化 1000本超える  
 多面的事業で、製炭炉 設置炭 生産 販売  
 各種キノコ菌床栽培 販売本格化  
**パナソニック労働組合 社会貢献活動 in 赤目の森 48名**  
 栗の苗木 植樹 120本(2015年9月現在300本)  
 台湾 訪問  
 デイサービス赤目の森 廃止 (12年間)  
**赤目の森作業所 PLUS (就労継続支援 A型) 開設**  
 福島県昭和村へホダ木 4000本送付始まる
- 2015年 台湾人ワークキャンプ年4回 延べ800人 五年目に入る  
**家庭料理大集合第3回目 錦生自治協議会との協働**  
**栗を中心とした多様な主体の協働事業「イガグリプロジェクト」発進**  
**地球環境基金「地域自治協議会で里山人材育成講座開講」協働事業**  
**興和損保「save japan カワバタモロコを見に行こう」地域と実施**  
 青年里山フォーラム第7回 エクスカーション 東京  
 創立20周年事業 検討委員会 発足
- 2016年 創立20周年 記念 祝賀会 開催 東京&名張

デイサービス事業の縮小

作業所事業が収入の柱に

キノコの生産・販売が中核事業

物品・農産物販売

栗生産・和菓子作り事業参入

ほだ木生産により里山整備が進む

新商品の開発検討

作業所拡大の準備

育てる会事業の継承課題の議論